

株式会社西村

— SNS × AI CORPORATE TRAINING

DOGiFY SCHOOL

AIエージェントを、自分で作れるようになる研修。

◆人材開発支援助成金対応 ◆オンライン／1ヶ月 ◆受講人数3名～



この資料は、
「AIに、じぶんの仕事をやらせるのが当たり前の会社」
になるための、5つのセクションで構成されています。

- | | | |
|----|------------------------|-----------|
| 01 | なぜ、AI活用は"それっぽい"で止まるのか | P.03 - 05 |
| 02 | 月100本、自社で回してる裏側の全公開 | P.06 - 07 |
| 03 | カリキュラム：1ヶ月で作れるAIエージェント | P.08 - 11 |
| 04 | 受講後に作れるエージェント・カタログ | P.12 - 14 |
| 05 | 料金・助成金・お問い合わせ | P.15 - 18 |

読み終わる頃には「うちでこれが動いたら強い」と具体的に想像できるはずです。

— I. THE PROBLEM

多くのAI活用は、 "それっぽい" で止まっている。

現状

AIが浅く出した企画・戦略・シナリオは、
世の中に溢れてる "それっぽいもの"。

結局手直して、時短なのか質向上なのかも
分からない。でも取り入れないわけにもいかない——

結論

そのジレンマで、
時間だけが過ぎていく。

——問題は「AIを使うか」ではない。
「AIに何をさせているか」。

実は、AIを使う人の99%が、この "それっぽい" の先に辿り着けていません。

— II. TWO LEVELS

"それっぽい" AI と "勝てる" AI は、次元が違う。

× "それっぽい" AI

世の中の99%はここで止まっている。

- └ AIの出力は、毎回"それっぽい"レベル
- └ 結局人間が手直しで時間が消える
- └ 使うほど疲れる、賢くならない

◎ "勝てる" AI

そのまま使える。世の中に出せて勝てる。

- └ AIの出力が、そのまま世に出せる品質
- └ AIが、勝手に自分で賢くなっていく
- └ 人は「任せる・受け取る」ディレクターになるだけ

DOGiFY SCHOOL が教えるのは、勝てるAI。月100本以上を自社で回して実証済みです。

— III. WHAT IS AN AI AGENT

AIエージェントは、
目的を与えたら、**勝手に動き続けるAI**です。

LV.01

話しかけて使う

ChatGPT や Claude に
1つの質問を投げて、1つの返答を得る。

LV.02

役割を持たせる

Skills / Projects / GPTs など
"専門家AI"を事前に設計しておく。

LV.03

勝手に動き続ける

目的だけ渡せば、人が寝ている間も
AIが自分で考えて動き続ける。

用語

Skills / Projects / GPTs = それぞれ Claude / Claude / ChatGPT のカスタムAI機能。呼び方は違うが目的は同じ。総称して「**カスタムAI**」と記載しています。

— IV. DOGFOODING

DOGiFY が教えられる理由は、
自分たちが **月100本** を AI で回しているから。

100 社

自社累計運用アカウント

100 本/月

AIエージェントが生成するコンテンツ

240 社

累計支援実績

普通の運用会社と違うのは、

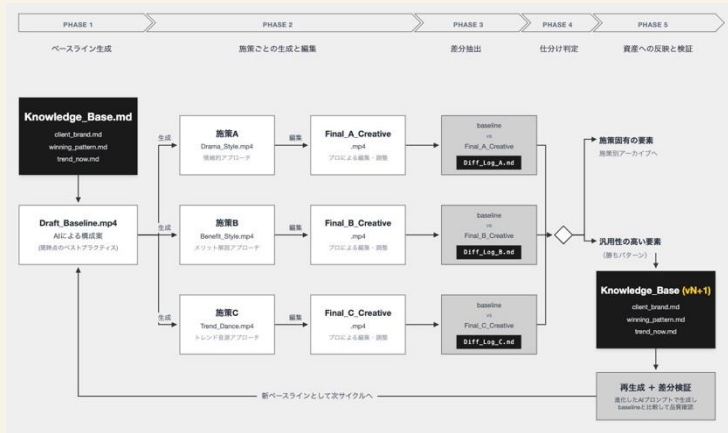
"人が頑張る" のではなく、"AIが勝手に動く" 仕組みで回しているという事実。

その仕組みを、その思考を、御社に実装します。それがこの研修です。

- SECTION 02 THE ARCHITECTURE

— V. HOW AI LEARNS

これが、
AIが自分で賢くなっていく **仕組みの設計図。**



生成する → 比べる → 学ぶ → 次に活かす。

この全部をAIが自分でやります。人は何もしません。日々運用しアップデートしている現場の仕組みをお伝えします。

— CURRICULUM 01

WEEK 01

AIに、自社のことを覚えさせる

AIが“自社の人”として話し始める、最初の1週間。

GOAL AIが、自社ブランドの空気感・勝ちパターンを踏まえて話せる状態にする。

この週にやること

- ・ AIへの指示（プロンプト）の基本
- ・ Skills / Projects / GPTs のどれを使うか決める
- ・ 会社のことをまとめた "AIの教科書" を作る
- ・ 過去に反応が良かったコンテンツを読み込ませる
- ・ AIに自社の空気感で話させてみる

この週の終わりに、AIが...

- ▶ あなたの会社を理解したAIができている
- ▶ 自社テイストで文章を書き始めている
- ▶ 明日からすぐ業務に使える状態になっている

WEEK 01 修了時点で、上記の状態が実際に動いています。

— CURRICULUM 02

WEEK 02

"そのまま使える" クオリティを出させる

AIの出力を、手直し前提から卒業させる週。

GOAL AIが出したものを、人間が触らずそのまま世に出せるレベルまで引き上げる。

この週にやること

- ・アプローチを変えた複数パターンのおし分け
- ・AIが出した案を、AI自身に評価させる仕組み
- ・「いい仕事」の基準をAIに教える
- ・ダメ出しをループさせて精度を上げる
- ・そのまま使える状態までAIが自力で磨く

この週の終わりに、AIが...

- ▶ 手直しゼロで使える成果物を出している
- ▶ 一発目からクオリティが出るようになっている
- ▶ 人の作業が"確認" だけに変わっている

WEEK 02 修了時点で、上記の状態が実際に動いています。

— CURRICULUM 03

WEEK 03

AIが、自分で自分を採点し始める

"それっぽい"の壁を越える、この研修の肝。

GOAL AIが、自分の出力と完成品の違いを自分で見て、勝手に学ぶ仕組みを組む。

この週にやること

- ・ AIに "比較" の視点を持たせる
- ・ AIが、自分の案と採用案の違いを自分で言語化
- ・ どこが良くて、どこがダメかをAIが分析
- ・ 気づきをAIが自分で教科書に書き足していく
- ・ 人間は進捗を眺めるだけで運用が回る状態に

この週の終わりに、AIが...

- ▶ 使うほど、AIが賢くなり続けている
- ▶ 過去の学びが、次のアウトプットに反映されている
- ▶ 人の手がほぼ入らず運用が回っている

WEEK 03 修了時点で、上記の状態が実際に動いています。

— CURRICULUM 04

WEEK 04

AIの能力を、社内の資産にする

育ったAIを、会社全体で使えるようにする最終週。

GOAL 1人で作ったAIが、部署全体・会社全体で使えるように整える。

この週にやること

- ・ 育てたAIの "教科書" を社内共有できる形に
- ・ 他のメンバーが使えるように引き継ぎ
- ・ 作れるAIエージェントのメニューを棚卸し
- ・ 社内に展開するロードマップ作成
- ・ 卒業後、自走するための体制設計

この週の終わりに、AIが...

- ▶ 育ったAIが、会社の資産として共有されている
- ▶ 他のメンバーも同じ仕組みで動かせる
- ▶ 卒業後、自力でAIエージェントを増やしていける

WEEK 04 修了時点で、上記の状態が実際に動いています。

— VI. AGENT CATALOG

"めんどくさい" と思っている仕事は、 全部AIに任せられます。

受講後、貴社で作れるエージェントの例（前編） 題材はSNSに限りません。

◆ SNS・マーケティング

- ・ 投稿を勝手に考えて、下書きするAI
- ・ 競合アカウントを観察・分析するAI
- ・ 動画の構成案を書くAI（YouTube / Reels / TikTok）
- ・ 広告バナーの案を量産するAI

◆ レポート・分析

- ・ 月次レポートを勝手に作るAI
- ・ 各種ダッシュボードの要点をまとめるAI
- ・ GA4 / 広告の数字を読み解くAI
- ・ KPI を毎朝チェックして報告するAI

◆ 情報収集・リサーチ

- ・ 業界ニュースを毎朝要約してくれるAI
- ・ 特定キーワードを監視するAI
- ・ 競合プレスリリースを検知するAI
- ・ 資料・論文の要点を抽出するAI

◆ 社内業務・AI秘書

- ・ スケジュール調整をやってくれるAI秘書
- ・ 議事録から「次やること」を抜き出すAI
- ・ 社内情報を聞けば答えてくれるAI
- ・ タスクの優先順位を決めてくれるAI

— VI. AGENT CATALOG

続き：業務の外にも広がる。 AIに任せられる仕事に境目はありません。

◆ 営業・クライアント対応

- ・ 提案書の下書きを作るAI
- ・ 顧客ごとのデータをまとめるAI
- ・ 商談議事録から次アクションを出すAI
- ・ メール下書き&返信仕分けAI

◆ 制作・クリエイティブ

- ・ ホームページを自動で作る・更新するAI
- ・ パナー・サムネを量産するAI
- ・ コピーの校正・トンマナ統一AI
- ・ ブランドのルールに沿ってるか確認するAI

◆ データ入力・連携系

- ・ スプレッドシートに自動で入力するAI
- ・ 複数サービスから数字を取ってくるAI
- ・ 散らかったデータを整形するAI
- ・ フォーム回答を自動でDBIに入れるAI

◆ 判断支援・意思決定

- ・ 企画書の論点を抜き出すAI
- ・ 案件の優先順位を決めるAI
- ・ 採用応募書類を一次評価するAI
- ・ リスク／コンプライアンスチェックAI

研修前に「この業務が・・・」という話を伺い、そのまま最初のAIエージェントにします

— VII. TRANSFORMATION

受講後、会社の空気が変わる。

BEFORE

受講前の社内

- ・ ChatGPTで単発の文章を書かせているだけ
- ・ AIの出力はそのまま使えないので結局手直し
- ・ 経験値は溜まらず、毎回ゼロから
- ・ AI担当は属人化、他の人には分からない
- ・ 「AI、使ってる？」と聞かれて曖昧に答える

AFTER

受講後の社内

- ▶ 目的ごとにAIが自律的に動いている
- ▶ AIの出力がそのまま使えるクオリティ
- ▶ 使うほどAIが賢くなり続ける
- ▶ 仕組み化されて、誰が運用しても同じ品質
- ▶ 「うちはAIが動いてます」と言える

1ヶ月で、AIに詳しくなるのではなく、AIにやらせるのが当たり前の会社に。

— VIII. 1-MONTH ROADMAP

1ヶ月で、何が起きているのか。



研修を経て、AIは勝手に賢くなり続ける／会社の資産として蓄積／自力で次のAIを作れる状態へ。

— IX. PRICING

料金 × 助成金ガイド

PRICING

通常価格

¥400,000 /1名 (税込)

助成金活用時

¥100,000

/1名 (税込) ・ 最低3名から

- ¥300,000 お得

SUBSIDY GUIDE

人材開発支援助成金

(人材育成支援コース)

1. 訓練計画の作成・提出（受講1ヶ月前）
2. DOGiFY SCHOOL 受講（1ヶ月）
3. 修了後、支給申請書の提出
4. 審査後、助成金が会社に入金

申請サポート：訓練計画の作成から支給申請まで、必要書類テンプレートを全てご提供します。

— X. MESSAGE

AIを「使える人」じゃない、 AIを「働かせる人」を育てる。

「ツール導入で終わる研修」は、数ヶ月後に形骸化します。

必要なのは、AIを育て続けられる人材。

弊社で実際に回しているノウハウを渡します。

NEXT

30分のオンライン相談で、
御社に合う導入設計をご提案します。

無料相談、 受付中。

30分オンライン・無理な営業なし・御社に合う導入設計をご提案します。

ACCESS

下記URLから、ご相談申込み。

24mura.co.jp/dogify-school

 株式会社西村 / web: 24mura.co.jp / tel: 092-260-5424

SUMMARY

料金	¥100,000 / 名
期間	1ヶ月 (10h)
形式	オンライン
人数	3名から
助成金	対応可能